

あなた国の好きなところは何ですか？

naoyai1



【トルコの人】

トルコの人が好きだと彼女は笑顔で教えてくれました。  
僕もトルコに滞在している間、トルコ人の優しさを体験しました。

例えば

『トルコで地震が起きたときに日本人が助けてくれた。  
これは大したものじゃないけど、その時のお返しだ。』  
トルコの港町で出会ったタクシーのおじさんがそう言って僕にクッキーを渡してくれた。

彼との出会いは町はずれのタクシー乗り場でした。  
僕が道に迷ってしまい、タクシー乗り場の前にあった地図を見ていると  
『どこに行きたいんですか?』と声をかけてきました。  
会話の流れはこんな感じです。

僕：空港に行きたいんだ。

トルコ人：タクシーで送ってくよ！

僕：お金がなくてタクシーには乗れないよ。

トルコ人：60トルコリラ（3000円）だよ。

僕：60!? 3か月旅をしていてお金がないんだ。ごめんね。

トルコ人：お金がなくて、困っているのか！ ちょっとここで待ってて！！

僕：うん

トルコ人：これを受け取って。妻に買ったものだけど、困っている時はお互い様だよ。

とって一番最初の言葉

『トルコで地震が起きたときに日本人が助けてくれた。  
これは大したものじゃないけど、その時のお返しだ。』  
と言われました。

まさか、トルコで地震のことを言われるとは思ってもいなかったです。  
しかもクッキーまでくれるなんて。



【トルコの人】

彼に聞いたトルコの好きなところも「トルコの人」

そして彼は続けてこう続けました。

「トルコの人は困っている人を放っておけないんだよ」

と。

僕はトルコの人大好きです。

また「トルコ人は親日家」とよく言われています。

僕もそう思います。「トルコの人は日本を好意的に思ってくれている。」

旅中にそう強く感じました。

実はトルコも日本と同じで地震が多い国です。

例えば、2011年11月23日トルコ東部のワン近郊でマグニチュード7.2の地震が発生し

多数の死者が出る大惨事となった。

そして、この地震に際して被災者支援を行っていた日本人が犠牲になりました。

このことをトルコ人に「地震の時に助けてくれて本当にありがとう」とさっきも書いた通り言われました。

ここでトルコと日本の関係を振り返ってみます。

エルトゥールル号遭難事件。これが日本とトルコの友好関係の始まりと言われています。

これは今から100年以上前の1890年の出来事です。

日本を訪問しに来ていた使節団エルトゥールル号が和歌山県串本町沖で台風に見舞われ沈没してまいりました。

その時に、現地の日本人が岸にたどり着いたトルコ人を非常に厚く救護をした。

そして生き残ったトルコ人はそのことに大変感動し、母国に帰った後その話をトルコで広めました。

その逸話が今でもトルコでよく知られているため、親日であると言われています。

また日本が助けられたこともあります。

1985年にイラン－イラク戦争の渦中にあったイランでイラン上空を飛行する飛行機は無差別に撃ち落とすと急に宣言された。この時日本人は避難することが出来なかった。そんな時にトルコ航空が飛行機を出してくれたおかげで、無事脱出することが出来た。

日本とトルコは歴史的に助け、助け合っているんです。

こういった歴史から見ても、トルコは親日国家だと言えます。

親日国家というよりも、お互いに友好関係にあると言った方が正しいのかもしれないです。

こういう歴史を知るとってというのは大切だと思います。

次に



この写真を見て気づくことはありますか？  
トルコ以外の国ではなかったことです。

答えは、  
『写真を一緒に撮って』と言われること。  
道を歩いていると、『一緒に写真を撮って』と言われるんです。  
一緒に写真を撮るとすごく喜んでくれて、本当にうれしかったです。  
なんだか有名人になった気分でした。

そして「自分の写真を撮って」と言われたりもしました。  
なので僕のカメラの中に笑顔のトルコの人の写真がたくさんあります。

「この写真を撮って」から、すごく良い出会いがたくさんありました。  
こんな経験は他の国ではなかったので、是非トルコで体験していただきたいなと思います。

この章ではトルコの人について書いていきました。  
僕が出会ったトルコ人は陽気で親切でとても人懐っこかったです。  
人が良かったことがトルコが大好きになった理由の一つであることは間違いなし！！